

平成31年能勢町議会3月定例会議報告

3月定例会議に提出された案件は、下記のとおり決定しました。

3月定例会議には、条例6件、補正予算6件、当初予算8件、報告1件、その他1件、また議会議案2件、動議2件の合計26件が提出されました。

賛否が分かれた案件は11件で、その他の案件は全員賛成により可決されました。

すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

動議 平成31年度能勢町一般会計予算に対する組み替え動議

※1 賛	否										※2 否決
西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	議長

提案説明 ①財政見直しを検証し、財政破綻をさせない②住民説明、協議を行い住民意見の反映③住民ニーズを捉え協働による事業が進ちよくする予算になるよう、公共施設再編整備事業費の削除を提案し予算の組み替えを町長に求めるもの。

【反対討論】大西 則宏

質疑に対して、提案趣旨の明確な説明がなかった事、また、関連費用全額が削除であり組み替え動議の要件を満たしていない事からこの動議に反対する。

【反対討論】長尾 義和

町長が提案した予算に同意しがたいものなら、これまでから言っているように予算修正案をもって臨むべきである。しかし、今回は債務負担行為が設定されているなかでの予算修正は難しい。二元代表制の一翼を担う議会の役割の一つでもあるチェック機能を果たし、今後の事業推進状況をしっかり見守っていくべきである。よって、組み替え動議については反対する。

【賛成討論】伊木 真由子

大平議員が出された組み替えの基本方針『①今一度立ち止まり、財政上の見直しを検証調査して財政破綻を発生させない持続可能なまちづくりのための予算とする。②住民に対し、施設内容だけでなく、財政見直しも含め説明協議を行い住民の意見を反映した予算とする。③住民ニーズを的確に捉え、協働による事業が円滑に進ちよくする予算案とする。』は、当然のことであると考え、賛成する。

議案第16号 平成31年度能勢町一般会計予算

賛	否										原案可決
西河 巧	森田 則子	岡本ひとし	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	大西 則宏	長尾 義信	中西 顕治	奥 久明	長尾 義和	中植 昭彦
○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	議長

【賛成討論】平田 要

公共施設再編整備事業は平成32年度までの「公共施設等の適正化管理に係る地方債」や「緊急防災・減災事業債」を受け、事業実施が有利とされている。公共施設再編整備を進めるにあたり、財政計画の徹底に努め、適時、住民への説明と、整備については町の規模に見合う事業費設計とすることとし、今回含まれていない旧小・中学校跡については「能勢町学校跡地活用に向けた考え方」により進められることを付して、原案に賛成する。

【賛成討論】岡本 ひとし

公共施設等総合管理計画に基づく再編整備であり、庁舎新設・旧歌垣小学校・旧東郷小学校再編整備・新消防庁舎に伴う費用を計上している。子どもから高齢者まで、安心して日常生活が営むことに必要な予算編成であり、我が事丸ごとの地域共生社会の実現に向けた取り組みを期待する。ICT教育環境整備を段階的に整備し、だれひとり取り残されることのない教育環境の整備等、慎重な事業執行を期待し賛成する。

【賛成討論】長尾 義信

現庁舎が60年以上経過し、自然災害に耐えられる行政の基盤の構築や住民が安心して暮らせるための庁舎機能の確保、旧久佐小学校の有効活用。旧歌垣小学校は、公共施設を集約し、東地域の公共サービスの拠点として、福祉関係等の充実。また、旧東郷小学校、防災・減災の拠点及び新消防庁舎整備を進める中、財政計画等での特別交付税措置や緊急防災・減災事業債等の有利な制度があるが、今後も気を抜く事のないよう財源の確保、財政の見直し計画をたて、建築等費用の安価対策などに努め、要望も含め原案に賛成する。